



1941年東京生まれ
1964年早稲田大学卒
東部フットボールクラブ 前会長
流山市議 当選 2期目

市議会 ほねぶとレポート

振り返ってみれば・・・

支援者の皆さん、本年で市議会議員2期8年を終了させていただきます。東部地区・向小金・松ヶ丘・前ヶ崎・西松ヶ丘・名都借の皆さんのおかげで、議員に選んでいただき、思いっきり市民の皆さんのため、市のために仕事をさせていただき、第3の人生を満喫できました。本当にありがとうございました。

我々が選挙の洗礼を受けた時2011年(平成23年4月)の本市人口は165.7千人でした(資料1)。市制スタートは1967年(昭和42年1月)流山町・八木村・新川村の合併により誕生。当時の人口は44千人。市制発足以降は人口うなぎのぼりで10万人を超えたのが1979年(昭和54年2月-1)、特に2005年(平成17年)つくばエクスプレス開通後の4年半後に転入者増加により人口増が1万人を超える状況でした。

市制発足50周年記念の2017年(平成29年1月)には、180.2千人となり、本年1月に19万人を超えました。人口伸び率は県下第1位(全国1位では?)です。本市の特徴は、長年最多だった団塊の世代(60～64歳)を、2009年(平成21年4月)に子育て世代(35～39歳)が追い抜き、人口カーブがこの2世代プラス子どもたちとを合わせ3つの山を形成していることです。2027年ぐらいまでは増え続けると分析がされており、いざき市長は「流山市に住んでよかった」をもっと、もっと。「住み続ける価値の高いまち」を目指して市長5期目挑戦されます。

資料1:流山市の人口推移

(単位:人)

年月	人口総数	自然増	社会増	年間増
平成23.3	165,037	555	955	1,510
平成24.3	166,547	384	743	1,127
平成25.3	167,674	499	1,539	2,038
平成26.3	169,712	511	2,465	2,976
平成27.3	172,688	554	3,253	3,807
平成28.3	176,451	558	3,936	4,494
平成29.3	180,945	545	4,339	4,884
平成30.3	185,829	619	3,851	4,470
平成31.2	190,299			
	期間合計	4,225	21,081	25,306

西川は2011年(平成23年4月)議員当選後・・・この時は東日本大震災の直後でした。茨城県から避難されて来られた方々も多々おられました。放射能問題も起こりました・・・西川の議員スタートはそんな時期でした。

さて議員の特権である「一般質問」とは、議員が各会期(年4回3か月ごと開催)に自ら調査・研究した懸案事項を市長への質問という形で説明・提案・実現要望することです。市行政運営上の大きな問題から市民身の回りの細かい問題まで、これは質すべき・提案すべきと判断したことをぶつけることです。機会は西川の場合は、年4回×8年間=32回×3件(1回に約3件の質問事項)=96件ぐらいの質問件数です。西川は全回登板予定していましたが、途中で3回緊急入院のため欠席。一度目は一般質問の当日に緊急入院となったこともありました。申し訳ありませんでした。

全期間を通じて、156件の質問課題を提示しました。

資料2:一般質問をテーマ別の実績件数(8年通算156件)

1位: 高齢者・弱者対策	61件
2位: 災害対策・震災対策	34件
3位: 教育・子ども関連	24件
4位: 市長他・財政策等	17件
5位: インフラ対策	11件
6位: スポーツ関連	9件

特に自分のモットー・・・子どもに笑顔を!シニアに安心を!・・・に連携する課題をいつもチェックして、質問事項とするようにしていました。高齢者対策や教育・子ども関連は重点項目であり決しておざなりに対応してはいけない項目です。支援者の多い平和台地区や東部地区の皆さんからは、逆にチェックが入るぐらい厳しく見ていただきました。片時も忘れてはならない事です。今後も後輩、同輩議員にチェックする事を続けていきます。

